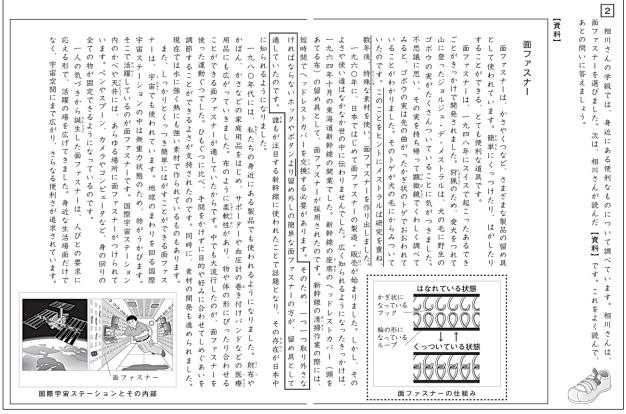
# 小学校 国 語

#### 課題及び指導改善に向けて

### 1 調査問題 2 三 (目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題)

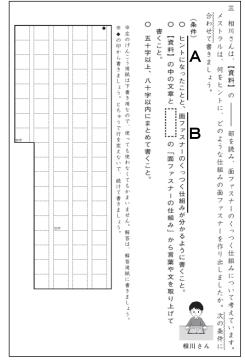
#### (1) 課題が見られた問題について



資料から目的に応じて必要な情報を見付け、文章と「図表」を結び付けて読むことが求められています。【資料】の中の文章と【\_\_\_\_、で囲まれた図「面ファスナーの仕組み」から、A「ヒントになったこと」とB「面ファスナーのくっつく仕組み」について、言葉や文を取り上げまとめて書くことが条件です。しかし、回答の約4割はAの内容を取り上げているものの、Bの内容は取り上げていませんでした。【資料】からAを読み取ることはできても、【\_\_\_\_、から必要な情報を見付けられなかったり、読み取った「くっつく仕組み」をAに結び付けて表現できなかったりしたためと考えられます。

#### (2) 指導の改善・充実に向けて

「図や表」を活用して「読むこと」「書くこと」を学ぶとき、 目的に応じ文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けるこ とが大切です。タブレットを活用した調べ学習で、情報を検 索する機会も増えています。「図や表」などの非連続型テキス トの扱いも増えてきます。社会や算数など他教科の学習で、



児童が考えた「図や表」の見方・読み取りを複数取り上げ、比較検討するなど、丁寧に扱うことも 大切です。それを踏まえ、国語科で「図や表」を文章と結び付けて読んだり言葉に表したりすることで、内容を深く理解できることに気付かせていくとよいでしょう。

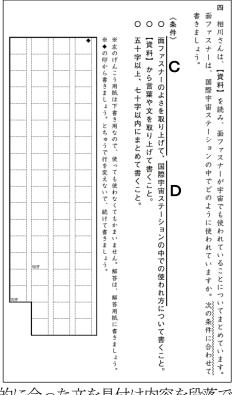
# 2 調査問題 2 四 (目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する問題)

#### (1) 課題が見られた問題について

この問題は、資料からそれぞれ必要な情報を取り上げ、関連付けて書くことが求められています。C「面ファスナーのよさを取り上げて」、D「国際宇宙ステーションの中での使われ方」について書くことが条件となっています。しかし、回答の約5割は、D「使われ方」については取り上げているものの、C「よさ」については取り上げていません。条件を十分に理解できていなかったことが考えられます。また、C「よさ」を述べた第1段落とD「使われ方」を述べた第5段落は離れており、文の構成を基に段落ごとの内容を要点的に捉えていなかったり、必要な情報を関係付けることができなかったりしたことも考えられます。

#### (2) 指導の改善・充実に向けて

文章を要約するには、文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめる力が必要です。同じ文章を読んでも、読み手の目的によって内容の中心となる語や文は異なるため、要約した文も異なるものになることを確認することが大切です。



低学年のうちから、短い文を使って内容の中心となる語や目的に合った文を見付け内容を段落でつかむ学習や、書かれている内容をキーワードで表現する学習に取り組むことが効果的です。また、それぞれの目的に合った複数の文を取り上げて関連付けて書くために、普段から文と文のつながり方を意識して読むことが大切です。

## 3 調査問題 3 三 (2) オ (文の中にある修飾と被修飾語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題)

#### (1)課題が見られた問題について

この問題は、「すぐに」が文中の「遊び終わったら/遊具を/かたづける/むずかしい」のどの語を修飾しているのかを捉える問題です。誤った回答の約3割は直前にある「遊び終わったら」と回答、約2割は直後にある「遊具を」と回答しており、語句を文中の前後関係のつながりで捉えていると考えられます。文中の語句のつながりを正しく理解していません。

#### (2) 指導の改善・充実に向けて

自分の思いや考えを適切に表現するためには、動きを表す語句を詳しくしたり、ものや人などの様子を詳しくしたりする文の組み立てを理解することが大切です。「読むこと」「書くこと」を一体的に考え指導していきましょう。

「読むこと」の指導では、修飾語がどの語句を詳しくしているのかを はっきりさせて読みとる指導が有効です。修飾語は直前や直後の語句を 詳しくするだけでなく、離れた語句を修飾する場合もあることを、文章の 読み取りの場面で丁寧に扱うことが必要です。

「書くこと」の指導では、修飾語を加えて詳しく説明する文を書く指導が有効です。スピーチ原稿を作る際に複数の文をまとめて一文にしたり、プレゼン資料を作る際に長い文を細分化して箇条書きの短文にしたりする指導も考えられます。

